

岐阜県農業技術センターニュース No.29

葉菜類(コマツナ・ホウレンソウ)におけるリン酸減肥指標(環境部)

県内の施設土壌の多くは、リン酸が過剰に蓄積しています。この蓄積したリン酸を有効活用し、施肥コストの低減および資源循環型の施肥を実現するため、リン酸の蓄積が著しい葉菜類(コマツナ・ホウレンソウ)を対象に、土壌中のリン酸含量に応じたリン酸減肥栽培が1年間継続可能なリン酸減肥の指標を設定しました。

この指標では、1年間(コマツナ8回栽培、ホウレンソウ6回栽培と想定)のリン酸施肥量を、栽培開始前の可給態リン酸(トルオーグリン酸)に応じて3段階に設定しています。

栽培開始前に土壌診断を実施して可給態リン酸の現状を把握することで、リン酸が蓄積しているほ場では大幅にリン酸施肥量を削減でき、肥料費の削減につながります。また、土壌中のリン酸を肥料の資源として有効に活用でき、これまでのような土壌への過剰なリン酸の蓄積を抑える効果も期待されます。

葉菜類(コマツナ・ホウレンソウ)におけるリン酸減肥指標

可給態リン酸 (mg/100g)	50 未満	50~100	100 超
リン酸施肥量	施肥基準どおり	リン酸吸収量相当を補給	無施肥

*: リン酸吸収量相当を補給する場合のリン酸施肥量(1作あたり)は、コマツナは3kg/10a程度、ホウレンソウは4kg/10a程度とする



可給態リン酸が高い場合は、リン酸を減肥しても収量に影響がない

西濃地域に適した茶の直がけ被覆栽培体系の開発(作物部)

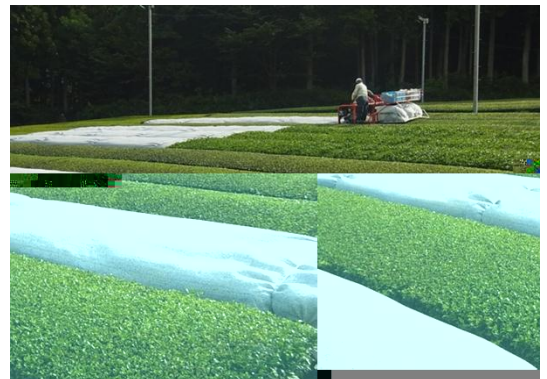
茶樹を被覆し遮光することで品質が向上し、かぶせ茶や玉露のように付加価値は高くなりますが、収量や樹勢は低下します。

平成22~26年度の研究により、被覆棚などの施設が不要で取り組みが容易な直がけ被覆では、秋冬番茶に被覆せず、一番茶と二番茶に被覆する体系が経営的に有利であることを明らかにしました。

摘採期は、一番茶の7~14日間の被覆で6日程度、二番茶の7日間の被覆で5日程度、14日間の被覆で8日程度、露地に対して遅らせることで、収量が増加し品質が低下しないことがわかりました。

また、被覆栽培に取り組む圃場では、浅刈や深刈などのせん枝処理を控えて、整枝により管理することで収量は維持され、さらに、8~9月に深耕することで一番茶収量が増加します。

今後は、客観的に茶の樹勢を診断できる手法について検討していきます。



試験圃場(池田試験地)

トマト長段栽培におけるCO2施用とミスト噴霧の効果(野菜・果樹部)

オランダではトマトなどの生産性を向上させる技術の一つとして年間を通した長時間のCO2施用を行っています。また最近の研究では、温室内の湿度を慣行より高めに維持することによって葉の気孔を開口させ、光合成を促進し、トマトなどの収量が増加することが報告されています。そこで、これらの技術を応用し、トマトの長段栽培において収量を増加させる技術を確立するために、ミスト噴霧による温湿度制御、CO2の長期・長時間施用技術について検討しました。

8月定植のトマト養液栽培「独立ポット耕」において、燃烧式CO2施用、多孔質チューブを用いた液化CO2気化方式による局所施用、燃烧式と局所施用の併用の3通りを時期により使い分け、CO2の長期・長時間施用を行いました。また、温湿度(飽差)を適正に維持するためのミスト噴霧、冬期の高屋温管理を組み合わせることで試験を行いました。その結果、品種「麗容」では慣行の低温期早朝CO2施用と比べて20%の収量の増加が認められました。また、このCO2の長期・長時間施用の経済性について検討した結果、収益の増加も認められました。

(本研究は新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(24005)により実施しました。)

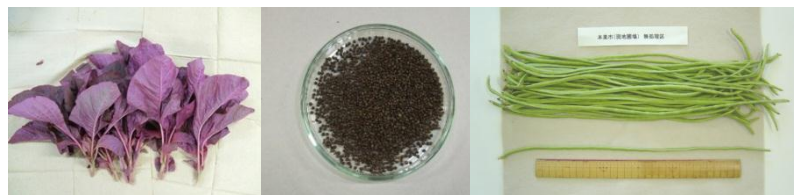


液化CO2気化方式による局所施用
(黒色チューブが多孔質チューブ)

地域特産農産物の農薬登録拡大のための取組み(環境部)

県では、地域特産農産物の生産安定に必要な農薬の登録拡大に取り組んでいます。未成熟ササゲ、甘長とうがらし、えごま等、産地から要望のあった地域特産物を対象に登録拡大申請に必要な試験(作物残留試験、薬効・薬害試験、倍量薬害試験)を実施し、これまでに24件の登録が拡大されました。

本年度も美濃市の特産野菜のアマランサス(仙寿菜)を対象にプレバソンフロアブルの試験を行いました。作物残留、薬効、薬害のいずれも登録に問題のない結果であったため、今後登録申請される予定です。



アマランサス

えごま

未成熟ササゲ

登録拡大された農薬の一例

作物名	対象病害虫等	農薬名
甘長とうがらし	疫病	ユニフォーム粒剤
	コナジラミ類	コロマイト乳剤
	苗立枯れ病	オーンサイド水和剤
アマランサス(莖葉)	アブラムシ類	スタークル顆粒水溶剤
	ネキリムシ類	ネキリトンK
えごま(種子)	畑地一年生雑草	アーゼラン液剤
	カブ	畑地一年生雑草
くり	実炭疽病	ドイツホルダーA
チコリ(軟化莖葉部、根株部)	畑地一年生雑草	アグロマックス水和剤
なばな	ネキリムシ類	ダイアジノン粒剤5
みずな	キスジノミハムシ	アクテリック乳剤
未成熟ササゲ	アブラムシ類	アドマイヤー1粒剤
	灰色かび病	セイビアーフロアブル
	ヨトウ類	カスケード乳剤
	ハダニ類	ニッソラン水和剤
やまごぼう	アザミウマ類	スピノエース顆粒水和剤
	黒あざ病	バスアミド微粒剤
	ネキリムシ	ダイアジノン粒剤5
	畑地一年生雑草	バスタ液剤

人事異動(平成27年4月1日付)

よろしくお願ひします

転入者	新所属	旧所属	転出者	新所属	旧所属
野々村奈緒美	総務課係長	教育総務課	酒向 恵子	西濃県事務所	総務課係長
河村 敏	生物機能研究部部長	水産研究所	鈴木 隆志	農産物流通課	野菜・果樹部部長
勝山 直樹	野菜・果樹部部長	野菜・果樹部	松尾 尚典	飛騨農林事務所	生物機能研究部部長
神田 秀仁	作物部専門研究員	岐阜農林事務所	坂田 勲	飛騨農林事務所	〃 専門研究員
三輪 俊貴	環境部専門研究員	中濃農林事務所	佐藤 秀人	中山間農業研究所	作物部専門研究員
加藤 優	野菜・果樹部研究員	新規採用			

岐阜県農業技術センター

〒501-1152 岐阜市又丸729-1

Tel 058(239)3131

<http://www.g-agri.rd.pref.gifu.lg.jp/>

池田試験地

〒503-2407 揖斐郡池田町般若畑631-11 Tel 0585(45)3837